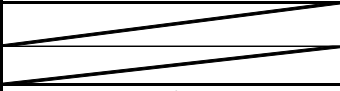


個別施設計画

策定年月 R2.1

施設名	視覚障害者センター			所在地	岡山市北区西古松268-1		
敷地面積	604.73 m ²			棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	753.12 m ²				※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	視覚障害者の福祉の増進を図るため身体障害者福祉法第34条に基づき設置された視覚障害者情報提供施設						
【想定される自然災害】							
予想震度	6弱		津波	-		浸水	0.01m~0.2m未満
建築規制	市街化区域、第2種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%						
エネルギー使用量 (2018年度)	電気	ガス	水道	燃料 ()			
	38,902 kwh	4,995 m ³	433 m ³	- 0			
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし						

1 施設内建物の概況

名称	本館		
築年(西暦)	1985年		
構造	鉄筋コンクリート造 3階		
建築面積	280.30 m ²		
延床面積	753.12 m ²		
主要な用途 (室名等)	事務室 点字書庫 会議室		
主要な設備 (屋外を含む)	電気設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 昇降機		
利用状況	高		
耐震性 ※1	有		
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根		

※1 耐震性有:耐震診断の結果I_s値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化の進んだ設備等について、更新・修繕・改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館	設備等の更新・修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化の進んだ設備等について、更新・修繕・改修を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	
本館	設備等の 定期更新 (修繕・改修を含む)				屋根 樋			屋根防水				
						受変電設備						
						自動火災報知設備						
						昇降機						
								空調設備				
							照明設備 LED					
							西南窓ガラス					
							南窓建具					

4. 概算費用

総額 1億円